

副会長 喜連 仁久し (太田会員) 一九三〇

馬鹿屋三(太陽)

行政長執 (新江) 重任

近井民之助 (高柳)

20. 19.

喜連会長 常在 捕氣中付病氣更甚トトコト  
現甲人選

人有之限定也又著干名トシ氏名ハ太田会員  
於ニ余員凡一百人ほ一人、副会長決定乙

之ヲ 同歸会長選舉之小記ヲ、未生ノト

擇舉範圍

會員四人二休一人

同選會長一人

允解會員五人

同歸會長書記

21.

以上三事大會オ終了又時半九時。

皆山曲室彦、挨拶アリ。要旨。

御同報上ツ、地三十一在裏會、市化、左裏信、アレ等  
内証ヲ云謂スルモノトシ當之見テ、多才の詠誦三歌、  
常ツニモ考之即知人行脚ヲニシテ未ト一壁透毛ビ  
考ヰ例不能立考ホ一壁透中傍丸紙ナカ  
テ口ヲ被スルナ、古裏會一千西同報会ノ後御  
久セズ又裏丸紹御賀御、ハスマニ御天トヨ  
共ニシキナタリ、余ハ芦伊摩御、自汝ト御内省御者自  
多、故亦ヲ欲シニシテ向アテ努力シ奉リ是ニ今ヤ  
千西同報会ニ於キ、官席御在立御、會ノ後辛